

くらしの足をみんなで考える
全国フォーラム2022
2日目
パネルディスカッションまとめ



議論したいこと

(0) パネラー相互の「この人にこれを聞きたい！」

(1) 「幹線」「ネットワーク」の見直し、なぜ進まないのか

— 20年前の『バスはよみがえる』の「路線網を見直す努力」がいまも進んでない気がするのなぜ？

(2) 「幹線」バスの今後の可能性—まちの「インフラ」に位置付けられるようになって、使ってもらえ、生き活きたものにできるには？



(1)「幹線」「ネットワーク」の見直し、なぜ進まないのか

•「身内」の敵？

先入観、経験値、「自分たちのほうが詳しい⇒初心者の気持ち忘れる」、権益を守る、全否定、「バスにあわせて生活してもらって当たり前（「利用者」呼ばわり？）」、「社員証」、…

← 不確実性に手は出さない、じつは「伝統芸能」守りたい

•今は過渡期、また「課題を見出す」いいチャンス

コロナ、法制度改正+アップデート、異分野連携

•モード間の調整不調～シームレスの必要性

無関係に議論される鉄道とバス、駅整備とバス、…



(2) 「幹線」バスの今後の可能性

- バスの「社会的地位」を上げる:生活に位置付けられるように
なんで不審に思われる? バスは鉄道より下?
(cf.<ま川鉄道⇔産交バス バスなければ復旧急げなかった 自体はバスに冷たい)
- 輸送というファクターだけで見る⇒そこからの脱皮
バス停の充実(地域の生活インフラ化)、「走る街路灯」
「地域を魅せる装置」~コンビニと組む、公園と組む、・・・
バスレーンを設置する意味はあるか: 道路政策上の効果を打ち出したい
- 地域を巻き込む仕掛け:「立場」も含めた「シームレス」化
環境整備は行政がやったほうが良い(事業者だけでは無理)~協働の可能性
インフラなくてもできることもある ~ 走行環境含め「円滑」に



気になったキーワードとまとめ

- 「誰に対して何を競争する？」

事業者の争い(論理展開)している間に客が離れる

- 「供給すると需要が生まれる？」「伝統芸能」=誰に対して乗ってもらいたいのか、売りたいのか
どういう供給するかは、ユーザー目線、まち目線 ~ MaaSの大前提では？

「供給できない」ことによる「我慢」をどうシェアリングするか

⇔一方で目の前に客がいるのに失い、参入されるケースも:データ活用の時代

- 「Walkable,Reliable,Enjoyable」な街のインフラ、バスに乗ることを誇りに

バスというものに対する社会的地位の向上(ある種の信頼性)

「不便益」(不+便益、ではなく、不便の益)を産む公共交通 →乗ってプラスを産む

目的も巻き込んだ、立場の差を超えた「シームレス」 ~ これもMaaSでやるべきこと、だが

引きこもっている人を出てもらう ⇒ 目的地までの課題が「わかりやすさ」「情報提供」

